

平成31年度（令和元年度） 全国学力・学習状況調査【調査結果】 －蓮田市の結果の概要について－

蓮田市教育委員会

本調査によって測定できるのは、学力の特定の一部・一側面であり、全ての学力を表すものではありません。

このことを踏まえ、蓮田市の結果の概要についてお伝えします。

1 実施状況

- (1) 実施期日 平成31年4月18日（木）
- (2) 対象学年 小学校第6学年 中学校第3学年
- (3) 調査内容
 - ア 教科に関する調査（国語、算数・数学、英語〈中学校〉）
※今年度から知識・活用を一体的に問う調査問題
 - イ 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

2 学力・学習状況調査結果

(1) 教科に関する調査

全体的傾向	小・中学校ともに、国語・算数・数学で、県・全国の平均正答率を上回る結果であった。
	小学校は、国語では書くこと、読むことについて、算数では図形について課題がある。中学校は、国語では伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項について課題があり、数学では資料の活用に課題があり、英語では書くことに課題がある。なお、実施可能校で実施（本市は全校で実施）した英語「話すこと」調査は全国平均を大きく上回っていた。また、無解答率は低く、児童生徒は粘り強く取り組んでいる。

【蓮田市と全国・埼玉県との比較の概要】

小学校第6学年（平均正答率 単位％）

	国語	算数
蓮田市	65.0	67.0
埼玉県	64.0	66.0
全国	63.8	66.6

中学校第3学年（平均正答率 単位％）

	国語	数学	英語
蓮田市	75.0	60.0	56.0
埼玉県	73.0	59.0	56.0
全国	72.8	59.8	56.0

【国語】

学年・問題数・傾向	○：できていた内容	●：努力を要する内容
<p>小学校第6学年 [問題数：14問]</p> <p>□全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は上回っている。</p>	<p>○文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く。</p> <p>○話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる。</p> <p>○ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる。</p>	<p>●情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方の工夫を捉える。</p> <p>●目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらか読む。</p> <p>●目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く。</p>
<p>中学校第3学年 [問題数：10問]</p> <p>□全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は上回っている。</p>	<p>○伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く。</p> <p>○文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつ。</p> <p>○文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える。</p>	<p>●語の一部を省いた表現について、話や文章の中での適切な活用の仕方を理解する。</p>

【算数・数学】

学年・問題数・傾向	○：できていた内容	●：努力を要する内容
<p>小学校第6学年 [問題数：14問]</p> <p>□全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は若干上回っている。</p>	<p>○加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる。</p> <p>○2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の何倍か読み取ることができる。</p> <p>○示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる。</p>	<p>●示された除法の式の意味を理解している。</p> <p>●図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成することができる。</p> <p>●示された計算の仕方を解釈し、かける数や割る数を選び、計算しやすい式にして計算できる。</p>
<p>中学校第3学年 [問題数：16問]</p> <p>□全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は若干上回っている。</p>	<p>○反比例の表から、x と y の関係を式で表すことができる。</p> <p>○総合的・発展的に考察し、得られた数学的な結果を事象に即して解釈することができる。</p> <p>○証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している。</p>	<p>●資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。</p> <p>●グラフ上の点Pの y 座標と点Qの y 座標の差を、事象に即して解釈することができる。</p> <p>●数の集合と四則計算の可能性について理解している。</p>

【英語】

学年・問題数・傾向	○：できていた内容	●：努力を要する内容
<p>中学校第3学年 [問題数：21問]</p> <p>□全国の平均正答率にと、蓮田市の平均正答率は等しい。</p>	<p>○日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができる。</p> <p>○日常的な話題について、簡単な文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる。</p> <p>○文の中で適切に接続詞を用いることができる。</p>	<p>●与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことができる。</p> <p>●まとまりのある文章を読んで、話のあらすじを理解することができる。</p> <p>●与えられた情報に基づいて、一般動詞の3人称単数現在時制の否定文を正確に書くことができる。</p>

(2) 児童・生徒質問紙調査 (全国平均と比較して ○良好 △課題)

<p>小学校第6学年</p> <p>全体的傾向</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県や国の平均値とおおむね同様で、全体的に平均値よりもよい傾向にある。 ・ 基本的な生活習慣の定着ができている。ルールや約束を守るなどの規範意識が高い。 ・ 家庭での学習について、よい傾向にある。 ・ 地域の行事に参加したいと思っている児童の割合が低い傾向にある。 ・ 授業で学んだことを、他の教科や普段の生活の中で活用しようとしている児童の割合が高い傾向にある。 ・ 今までの授業について、アクティブラーニングに関する項目がよい傾向にある。 ・ 特別の教科道徳、学級活動、総合的な学習の時間の取組について、よい傾向にある。
<p>具体的傾向</p> <p>(質問紙の抜粋)</p> <p>全国平均と比較して</p> <p>○良好 △課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎日、同じくらいの時刻に起きたり、寝たりする。 ○ 家の人と学校での出来事について話をする。 ○ 先生は、よいところを認めてくれている。 ○ 将来の夢や目標を持っている。 ○ 学校のきまりを守っている。 ○ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っている。 ○ 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思っている。 ○ 授業でICTを活用している。 ○ 授業で学んでことを、ほかの学習に生かしている。 ○ 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。 ○ 学級活動における話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。 ○ 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。 ○ 国語や算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用しようとしている。 △ 今住んでいる地域の行事に参加している。 △ 国語の授業の内容がよく分かる。 △ 算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思う。 △ 算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている。

<p>中学校 3 年生</p> <p>全体的傾向</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校と同様に、県や国の平均値とおおむね同様で、全体的に平均値よりもよい傾向にある。 ・ 基本的な生活習慣の定着ができています。ルールや約束を守るなどの規範意識が高い。 ・ 読書に関してよい傾向にある。 ・ 学級活動、総合的な学習の時間の取り組みについて、よい傾向にある。 ・ 教科についての肯定的な回答の割合が低い傾向にある。 ・ 自己肯定感や自己有用感に関する肯定的な回答の割合が低い傾向にある。
<p>具体的傾向</p> <p>(質問紙の抜粋)</p> <p>全国平均と比較して</p> <p>○良好 △課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎日、同じくらいの時刻に起きたり、寝たりする。 ○ 将来の夢や目標を持っている。 ○ 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。 ○ 学校の規則を守っている。 ○ 読書は好きか。 ○ 1日当たりどれくらいの時間、読書をしているか。 ○ 本を読んだり、借りたりするために、学校の図書室や地域の図書館にどれくらい行くか。 ○ 授業で学んだことを、ほかの学習に生かしている。 ○ 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。 ○ あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思う。 ○ 数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題に、最後まで解答しようと努力した。 ○ 1, 2年生で受けた英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていた。 △ 自分にはよいところがあると思う。 △ 学校に行くのは楽しいと思う。 △ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っている。 △ 人の役に立つ人間になりたいと思う。 △ 国語、数学、英語の授業は好きである。 △ 国語、数学、英語の授業はよく分かる。

3 今後の予定

市教育委員会	<ul style="list-style-type: none">○市全体の児童生徒の実態を国や県の実施した様々な調査のデータから分析し、種々の相関関係から導かれる教育の方向性を定める。○年次研修に加え、臨時的任用教員研修・授業研究会や、4年経験者を対象とした若手教員研修、また、職員育成講座を実施し、授業力の向上を図る。○特に課題の見られた点に対しては、指導主事の派遣を通して、重点的に授業改善の取組を支援していく。○国語の学力向上推進委員会の取組を推進する。○算数・数学学力向上推進委員会は、今後も継続して、学力向上について取り組んでいく。
各小・中学校	<ul style="list-style-type: none">○校長のリーダーシップのもと、自校の調査結果を分析・考察し、学校の教育活動や学習指導の改善に役立てる資料として活用していく。○授業中における学習規律を徹底するとともに、教科会や学年会を中心に学習指導法の工夫・改善を行い、子供たちに達成感を味わわせることができるような「ねらいがわかる授業」「一人でじっくり考え、仲間の意見を参考にしながら、思考力を育成する授業」「授業で何がわかったか、自分の言葉でまとめる授業」を展開し、授業が好きな児童・生徒を育成する。○学級指導や学級活動と連携させて、学力向上の推進を図る。○指導者を招いた授業研究会を積極的に行い、教師一人ひとりの指導技術の向上を図る。○個々の学力の伸びや、課題を重点的に分析し、個々に応じた学習指導の充実を図る。
家庭・地域社会	<ul style="list-style-type: none">○家庭での学習については、協力をいただきながら、軌道に乗りつつある。しかし、家庭での過ごし方は、学力向上に大きな影響があることから、わが子の生活習慣について改めて考えるとともに、その改善方法について、家庭でよく話し合う。○特に、今回、質問項目にはなかったが、携帯電話やスマートフォンの使い方、テレビやテレビゲームの時間等については、家庭のルールをつくるなどして、時間の上手な使い方について家庭でよく話し合う。○わが子の学習面でのつまずきを把握するとともに、学校からのアドバイスをもとに、解決方法を家庭でよく話し合い、質・量共に充実した家庭学習に取り組んでいく。